

津久戸

6月号

 令和4年5月31日
 新宿区立津久戸小学校

保健室より

「先生、一緒に遊ぼう！」と休み時間に声をかけてくれる子がたくさんいます。津久戸小の保健室は校庭と職員室と廊下に扉があり、とても風通しの良い場所にあります。いつでも、だれでも気軽に行ける保健室経営をしています。保健室には、けがや体調不良、気持ち落ち着かない、いやなことがあってクールダウンをしたり、ふらっと保健室に寄ってお話をしたり様々な理由で来ます。心身ともに少しでも元気になって教室やご自宅に戻れたらいいなと思い、日々関わって指導しています。

4月から健康診断をしています。健康診断は毎年自分の体を知ることができる機会です。子どもたち自身も自分の成長を感じ、目を向けることができています。4・5月のほけんだよりには発育測定の平均や視力検査の結果等を載せています。6月には歯科検診の結果を載せます。健康に関する内容も載せておりますので、お子さんと一緒にお読みください。

また、医師の診察や指導が必要な場合はなるべく早めに専門医を受診してください。6月に緑色の「健康カード」にて結果をお知らせします。お子さんの成長をご確認いただきましたら、押印してご提出ください。

暑い日が増えてきて、子どもたちはたくさんの汗をかいています。ハンカチやタオルの準備をお願いします。必ず水筒を持参し、こまめな水分補給をするように呼びかけています。ご協力よろしく願いいたします。



6月は食育月間です

「食育」とは、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことです。食べることは、生涯にわたって続く基本的な営みですから、子どもはもちろん、大人になってからも「食育」は重要です。特に、早い段階からその重要性を理解することがポイントになります。

こうした状況を受け、本校でも給食を活用した指導や教科と関連付けた食に関する指導を実施し、食育を進めています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止していた体験を伴う学習も、今年度は再開の予定です。

毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」と定められています。カレンダーを見ると、今年の6月19日は日曜日です。家族そろって食卓を囲み、食材や食文化、マナー等様々な食べることに
 ついて考える機会にしてみたいかがでしょうか。



オリンピック・パラリンピックのレガシー 校長 牧田 健一

新学期が始まり、2か月が経ちました。それぞれ進級した学年らしく生活しようと意欲にあふれた児童の姿が見られています。非常に頼もしく感じているところです。1年生も緊張の中での生活でしたが、担任や新しい友達と関係ができてつつあり、自分らしさを発揮し始めています。

過日、3年生の社会科見学で、オリンピックミュージアムを訪れました。オリンピック・パラリンピック東京大会が終わり、1年近くが過ぎようとしています。私たちの記憶の中でも過去のものになりつつあると感じていました。ミュージアムの展示を見ながら、オリンピック・パラリンピックのレガシーは、残っているのだろうかと振り返りました。私自身はレガシーとして一番重要な要素は、他（国、人、障害等）を理解し、認め合い、自らを磨き、鍛え共に栄えようという「自他共栄」の精神であり、将来を担う子供たちの健全育成だと考えています。

「自他共栄」は、日本オリンピックの父と呼ばれる嘉納治五郎先生の言葉です。嘉納先生は講道館を設立し、柔道をスポーツとして確立した方でもあります。嘉納先生は柔道の稽古を通して、この考えに至ります。自らを高めるためことは、一人ではできない。指導者がいて技を習得できる、稽古の相手があってより磨きがかかる、指導者は教えることによって学び、お互いが切磋琢磨することで共に喜びを得るという考え方です。これは様々な場面で当てはまることで、地域社会において有用な人材の育成にもつながる考えです。

学校は、一人ではできない活動がほとんどです。その教育活動の中で、お互いを尊重し受け入れ、認め合い、助け合いながら高め、創り上げていく学習を進めています。それこそが、レガシーとして生きていくのではないかと思います。津久戸小学校は、そのような学習を通して津久戸の子供たちに、共に「よりよく生きる」ことを考え、よりよい学級・学校、地域そして新宿区を、さらには世界を担う人材となるような基礎を身に付けさせたいと考えています。今後も保護者・地域の方々にもご協力をいただき津久戸小学校児童の健全育成にご協力をお願いいたします。

【学年の窓から・・・5年生】

早いもので、進級して2ヶ月が経とうとしています。クラスが替わり、担任が替わり、委員会が始まり、等々、多くの新しいことに戸惑いや緊張感をもちながらも、前向きに頑張る姿がたくさん見られました。特に委員会活動では、友達と声をかけ合いながら、あるいは自分で忘れないように意識しながら、仕事をしています。友達との関わりの中では、一人一人の個性を大切にしながら過ごせています。それぞれの苦手な部分や課題としている部分を受け入れる姿、得意な部分や活躍を認める姿など、集団でよりよく過ごすために、自然と工夫できているなど感心しています。「こんな係があったらいいな。」「この当番よりも、こんな当番が必要じゃないか。」など、学級がより良くなるための発言も見られます。

身も心も大きく成長する高学年ですが、これからも、自分自身、友達、学級のことを考えながら学校生活を送り成長できるよう、私も一人一人への言葉かけを大切にしていきたいと思います。

5年生になり、高学年としての活動が始まりました。委員会では、自分の仕事に責任をもって取り組んでおり、6年生に教えてもらいながら協力して日々頑張っています。クラブでは後輩ができ、先輩としてお手本になれるように努めているようです。

また、ゴールデンウィーク明けには数年ぶりに「きょうだい遊び」を行いました。低学年の時に参加した遊びを思い出しながら、事前に学級会を行って遊びを決めました。「2年生みんなが楽しめる遊びがいい。」「最初の会だから、2年生が知っている遊びをしたらどうだろう。」と積極的に意見を出し合いました。初めての学級会で、こんなに多種多様な意見が出るのは、聞き手がどんな意見でも受け入れようとする姿勢をもっているからだと思います。2か月間一緒に過ごす中で、5年2組は違いを受け入れ、お互いを認め合っていこうとする姿勢をもった子たちが多いように感じました。

お互いを受け入れようとする温かい環境の中で、明るく素直な気持ちで、新しいことにどんどん挑戦していけるよう、一緒に頑張っていきます。

6月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・廊下を静かに歩こう。
- ・雨の日の過ごし方を考えよう。
- ・名札をきちんとつけよう。
- ・ハンカチを用意しよう。



トイレや手洗い場で手を洗った後に手を拭くことができるように、ハンカチやミニタオルがポケットに入っているようにご家庭でお声掛けください。傘をさしての登下校時は、いつも以上に車や歩行者の動きに気を付けて、歩道では広がらないように歩くよう指導していきます。

(生活指導部)

【お願い】

- 同居するきょうだい又は親族に風邪症状がみられた場合、PCR検査を受ける前であってもお子様の登校は控えてくださるようご協力願います。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、お子様のことで不安等がありましたら、担任又は管理職にご相談ください。

